

小中生ら双葉郡の魅力発表

広野で創造学サミット



より良い富岡町に向けた方策を発表した富岡中の生徒—広野町

県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会の「第11回双葉郡ふるさと創造学サミット」は30日、広野町のふたば未来学園中・高で開かれ、双葉郡の児童生徒が地域の魅力や課題などを発表し、地域の将来を考えた。

り組む探求的な学習。サミットは学校の枠を超えて取り組みを共有し、学びを通じた交流で地域のつながりをつくる狙いがある。児童生徒約580人が参加した。

11会場に分かれ、各校が双葉郡の各町村の復興状況や特産品、振興策など多岐にわたるテーマを発表した。その後、発表内容に関する質疑応答や聴講した児童生徒を交えたグループごとの対話も繰り広げられた。

富岡中1～3年生約20人は「富岡町をよりよくするために」をテーマに、商業施設や飲食店の充実、魅力ある観光施設やイベントの必要性などを提言した。3年の渡辺陽葵さん(15)は「町の課題と改善点を考えることで、より深く町を知ることができた。町外の同世代と話すことも刺激になった」と語った。

▲12月1日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

自分の住む地域の将来について、課題を踏まえ、どうあればよいかを考えることって、大切なことですね!



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る